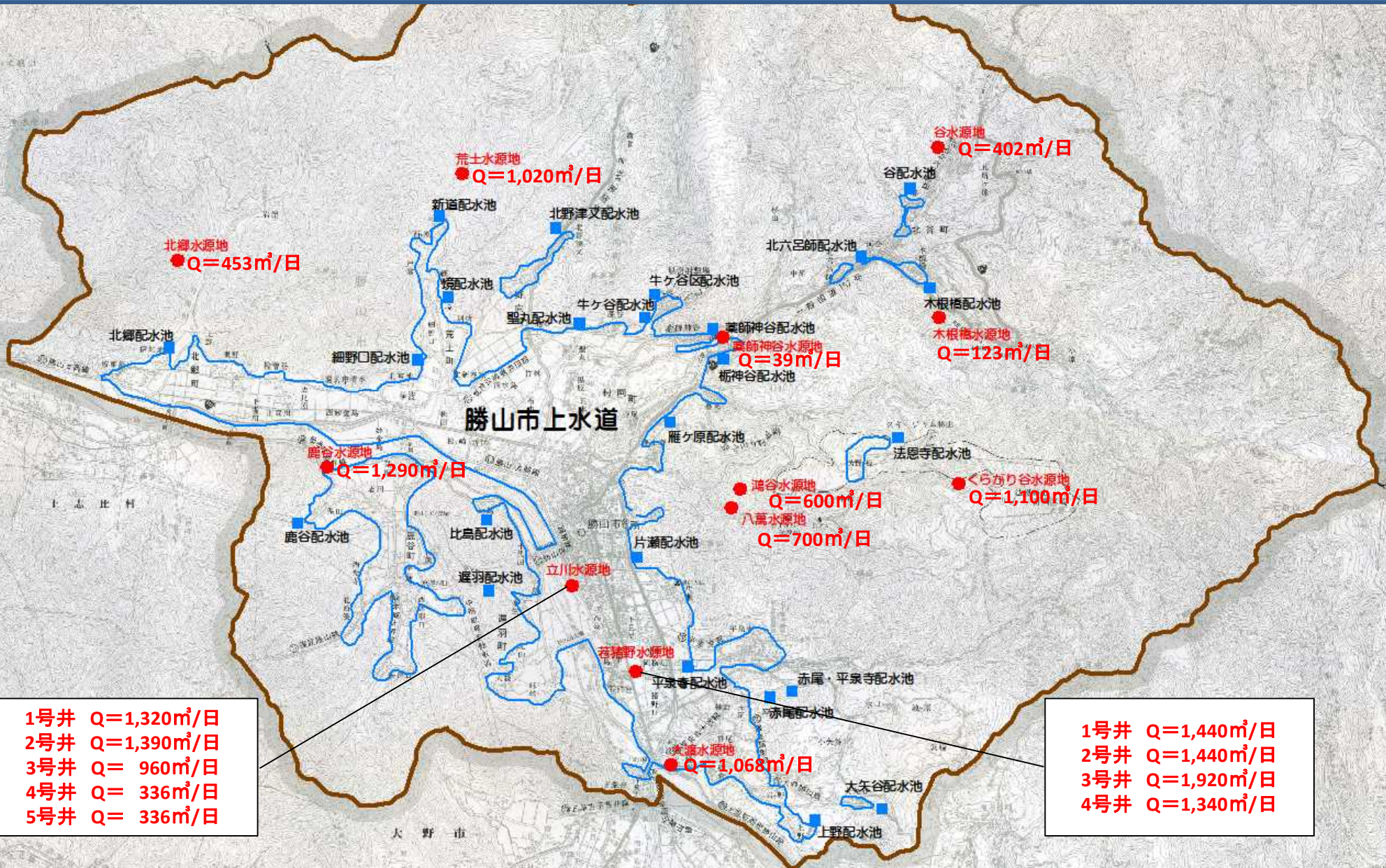


第2回審議会からの宿題

1. 各施設の取水能力について
2. 給水収益の見込にコロナ禍の影響をどこまで見込むか

各施設の取水能力



荒土水源地 ● $Q=1,020\text{m}^3/\text{日}$
北郷水源地 ● $Q=453\text{m}^3/\text{日}$
谷水源地 ● $Q=402\text{m}^3/\text{日}$
北郷配水池
新道配水池
北野津又配水池
鏡配水池
北六呂師配水池
牛ヶ谷区配水池
牛ヶ谷配水池
聖丸配水池
薬師神谷配水池
薬師神谷水源地 ● $Q=39\text{m}^3/\text{日}$
栃神谷配水池
木根橋配水池
木根橋水源地 ● $Q=123\text{m}^3/\text{日}$
雁ヶ原配水池
法恩寺配水池
鹿谷水源地 ● $Q=1,290\text{m}^3/\text{日}$
鹿谷配水池
比島配水池
渡羽配水池
立川水源地
鴻谷水源地 ● $Q=600\text{m}^3/\text{日}$
八萬水源地 ● $Q=700\text{m}^3/\text{日}$
くらがり谷水源地 ● $Q=1,100\text{m}^3/\text{日}$
片瀬配水池
若猪野水源地
平泉寺配水池
赤尾・平泉寺配水池
赤尾配水池
大矢谷配水池
大滝水源地 ● $Q=1,068\text{m}^3/\text{日}$
上野配水池

1号井	$Q=1,320\text{m}^3/\text{日}$
2号井	$Q=1,390\text{m}^3/\text{日}$
3号井	$Q=960\text{m}^3/\text{日}$
4号井	$Q=336\text{m}^3/\text{日}$
5号井	$Q=336\text{m}^3/\text{日}$

1号井	$Q=1,440\text{m}^3/\text{日}$
2号井	$Q=1,440\text{m}^3/\text{日}$
3号井	$Q=1,920\text{m}^3/\text{日}$
4号井	$Q=1,340\text{m}^3/\text{日}$

給水収益

- 給水収益は有収水量 × 供給単価で算定
- 有収水量は、過去10年間の実績を基に算定しており、経営戦略時点ではR1までの実績で算定。
→R2の実績が出たため、R2の新型コロナウイルス感染症の影響を反映した。

給水収益	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
経営戦略	308,840	304,065	312,204	308,488	304,447	300,642	296,909	293,402	289,598	286,019	282,479
審議会	311,494	304,065	307,269	303,319	299,109	295,179	291,337	287,722	283,918	280,329	276,821
差	2,654	0	△4,935	△5,169	△5,338	△5,463	△5,572	△5,680	△5,680	△5,690	△5,658

R2見込数値(コロナを反映)
R2.12までの実績を基に算出

R2見込数値(コロナを反映)
R2.9までの実績を基に算出

H22～R1の実績を基に算出(コロナの影響なし)

R2実績数値(大雪により使用水量が増加したため経営戦略の見込みを上回る)

H23～R2の実績を基に算出(コロナの影響あり)

- 検討した結果、第2回(上記)のままをしたい。
- 公益社団法人 日本水道協会の示す水需要予測の算定方法に基づいて算定している。
- 給水収益を厳しく見積もることで、将来見通しについても厳しい検討ができる。